

THE PAPER TUBE

全国紙管工業組合

2010 vol.32

寒中お見舞い
申します

旧年中は格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し
上げます

一昨年来の厳しい景気低迷がまだ紙管業界を脅かし
ておりますが、少しでも皆さまのお力になるべく組合事
業を行う所存でございますので、本年も何卒よろしく
お願い申し上げます



二〇二〇年 理事長年頭所感

八割経済に備えて

全国紙管工業組合

理事長 下畦正明

平成二十二年も本誌がお手元に届くころには一ヶ月は過ぎていくことと存じますが、遅ればせながら、初春のお祝いを申し上げます。

とはいえ、一昨年秋季以降の経済危機に見舞われた昨年前半は、全産業にわたって大幅な生産減少・売り上げ減少に見舞われました。

当業界も大変大きな影響を受け、組合員の大多数は一〜三月には三〇〜四〇%の売り上げ減少となり、雇用調整助成金等の申請や、人員・給与の見直しなど、その対応に迫られたのが実情ではないかと思えます。その後徐々に量の回復が見られますが、まだ従前の量までには至っていないのが実情ではないでしょうか。

このような現状の中、民主党への政権交代があり、今後の経済対策や産業政策が今後どのような方向に行くのか大変気懸かりなところですが、二酸化炭素排出量の削減目標や、年末に発表されたデフレ宣言、さらに予算編成の考え方など、業界にとっては先行きが非常に懸念されるところです。

紙管業界の主だった需要家業界においても、その事業の再編、再構築などで設備縮小や工場の統廃合などが進められている状況がみられ、全体的には、量の回復はなかなか難しい方向になってきているのが実情で、我々紙管業界もその影響を受けつつあり、今後の方針を見出していかなければならないと考えます。

過去においては、市場が大き

くなってきた時代、また安定していた時代には、量を追いかけて設備や、価格政策なども考えてきたところがありました。が、今後は、現状の量で経営できる体制に、今までも相当の努力をしてきていますが、もう一段踏み込まなければならぬのではと存じます。

縮小しつつある市場で、量を追い求めていけば、無理な価格政策になりがちですが、一時的には量が増えても、結局労多くして益少なしという結果になるのではないのでしょうか。

世の中はデフレ経済にあるとのことで、物品やサービスの価格が低下しておりますが、生産性の向上・革新的な技術による価格低下は還元していくべきと思えますが、現状では単に価格競争をしているだけで、そのしわ寄せがより弱い立場の

ところに、押付けられているような感じがしています。

特に我々紙管業界は、多くの組合員が小ロット・受注生産をとらざるを得ない状況です。で、価格を大事な財産として守っていかねばならず、需要家の皆様にも事情をご説明していかなければならないでしょう。

現下の状況は、不透明で先行きが見通せないという難しい局面ですが、皆様のご協力・ご支援を頂きながら、業界のお役に立てるよう微力ながらまい進していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年も皆さまのますますのご健勝を祈念しつつ、ご挨拶とさせていただきます。

西日本紙管株式会社

代表取締役社長



全国合同研修会 開催報告

紙管製造基礎技術の最新動向

去る十月十四日、名古屋市「ホテル ルブラ王山」にて、「紙管製造基礎技術の最新動向」と題し紙管製造に欠かせない、紙管原紙、接着剤、製造機械の三項目について、基礎技術の再確認をすると共に、最新の技術情報や今後の動向、国際情勢等について研修会を開催致しました。



第一部では紙管原紙について、レンゴー㈱ 尼崎工場長 櫻井幸彦様に、昨今の紙生産における国内外の状況や、紙管原紙と水分の関係や、圧縮強さの測定方法、紙管のJIS規格等について講演を行って頂きました。

第二部では紙工用接着剤について、昭和高分子㈱ 龍野研究所 エマルジョン研究室 研究主査



溝田和也様に、接着剤の基本的な接着理論や性質から、紙管用途における接着剤の必要性、接着剤を取り巻く環境問題等について講演を行って頂きました。

第三部では、最新の機械関係状況について、生田鉄工㈱ 代表取締役 曾我哲至様により、紙管製造の効率化、省力化といった視点からの最新機器の紹介をして頂きました。

非常に厳しい経済状況が続いてはおりますが、紙管業界として、社会のニーズや環境の変化に合わ



せて進化していくための、第一段階として、「基礎技術及び最新動向」をテーマとして、各分野のメーカーの視点から公演をして頂きました

今回の研修会の参加は大変多く、組合員三七社一一二名、関連企業一七社三〇名、新聞社三名、講師・アシスタント八名の計一五七名の参加を頂きました。

研修会終了後、交流親睦会も開催され盛況のうちに終了しました。

平成二十一年度通常総会のご案内（予告）

平成二十一年度通常総会の開催日および場所が内定しましたのでご案内申し上げます。

開催日 平成二十二年五月一九日（水）

開催場所 宮崎 フェニックスシーガイアリゾート

今回は中四国九州部会が担当で、今まで開催したことがなく、普段あまり行くチャンスが無い場所をと考えて選定しました。

皆様ご承知のように、かの有名な宮崎県知事や、ゴルフのお好きな方にはフニックスカントリークラブがお待ちしております。

厳しい状況が続きますが、是非奮って皆様のご出席を頂きたくお願い申し上げます。



平成21年度通常総会の詳細につきましては、4月中旬にご案内申し上げます。
是非、ご予約下さい。

大和板紙株式会社

代表取締役社長
北村光雄

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5-32
TEL 0729-71-1445 FAX 0729-71-1449

波の、その先に。



CORRUGATED BOARD「波の形をした厚紙」。波ボールは、そのような意味をもっています。日本で初めて「波ボール」を出し始めて以来、レンゴは常にお客様とともに最適なパッケージングソリューションを生みだしてまいりました。「しっかりと包む」から「美しく守る」まではもちろん、レンゴはさらにその先の「パッケージング技術を進化させ、これからも社会に貢献してまいります。

パッケージングソリューションカンパニー

REN
http://www.rengo.co.jp

レンゴ株式会社 本社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー 06-6223-2371
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 03-6716-7300

福山製紙株式会社

代表取締役社長
伊藤 晃

〒532-0031 大阪市淀川区加島2-2-1
TEL.06-6301-2131 FAX.06-6301-2919



NIPPON DAISHOWA
PAPERBOARD

日本大昭和板紙株式会社

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2
TEL03-6665-5000(代表) FAX 03-3217-3200

■工場

秋田工場 足利工場 草加工場
吉永工場 大竹工場

青年部会研修会のご案内 平成二十二年三月十九日

青年部会では各種見学会研修会を

実施してまいりましたが、今回は

「責任等級制」給料の決め方―社

員のやる気を出させる賃金制度改

革（仮題）―の研修会を企画いた

しました。

部会員各社のレベルアップのた

めに、この厳しい社会情勢の中で

はありますが、皆様のご参加を賜

りたく万障繰り合わせの上、何卒

ご参加頂けます様お願い致します。

テーマ

「責任等級制」給料の決め方

社員のやる気を出させる

賃金制度改革（仮題）

● 研究所の取組状況と事例紹介

介

● 賃金制度の基本的考え方

● 従業員のモチベーションを

意識した制度とは

● 採用賃金と将来設計

● 査定評価の手法等

日時

平成二十二年三月十九日(金)

午後一時～五時

場所

大阪、ラマダホテル

研修会費

後日ご連絡

*お申込、会費等の詳細は
後日ご連絡申し上げます。

講師

蒔田照幸先生

株式会社賃金管理
研究所
取締役副所長



混迷する給料・人事処遇時代の中、1985年以來の豊富な賃金コンサルタント実績(支援企業数は500社以上)を基に、各社の実情に即したキメ細かな指導を行う。経営者の抱える課題を次々と解決していくことで定評があり、実力主義賃金導入支援や講演等で、東奔西走の日々を送る

■ 著書

2003年に出版された『デフレに克つ給料人事』は、経営者や人事担当者だけでなく一般の人にもわかりやすいよう、経営相談のエピソードをふんだんに交え明快に説いた本として好評。

『給料の革新』(共著)『処遇の革新』(共著)『中小企業の人事賃金制度改革』(共著)『100人以下の会社の新給料決定マニュアル』『経営を合理化する賃金の決め方』など多数



紙は時代のメッセージ。

TOYAMA
SEISI

富山製紙株式会社

代表取締役社長 寺崎 敏治

本社工場/富山市下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498

中芯原紙、紙管原紙
美粧段ボールケース



株式会社 岡山製紙

取締役社長 広瀬 靖弘

〒700-0845 岡山市浜野1-4-34

TEL. (086)262-8750
FAX. (086)264-4943

HAYASHIBARA
GROUP

廃棄費不要 環境に優しく収益改善

<グリーン紙管はリサイクルへ>

- エンドユーザーにて使用済みとなったグリーン紙管は、ダンボールと同様に紙の原料として再利用できます。
- 通常の紙管は水に溶けにくいので古紙業界では嫌われており、焼却・産廃処分されますが、グリーン紙管は日本で初めてこの問題を解決しました。
- 紙管としての性能・価格は通常紙管と全く同じです。
- 使用済みグリーン紙管の回収ルート構築についてもご相談ください。

<グリーン紙管の用途と仕様>

通常紙管と同じように、ご要望の各サイズご用意できることはもちろん、シームレスコア仕様での製作も可能。

グリーン紙管の詳細はこちらから。 <http://www.tanakapt.co.jp/>



問い合わせ先:

〒581-0092
 大阪府八尾市老原 6-88
 TEL.072-992-0455
 FAX.072-992-4110
 URL : <http://www.tanakapt.co.jp/>
 Email :
yuuichiro.hattori@tanakapt.co.jp

「ごみ」にならない紙管を作りました。

田中紙管が製紙メーカーと共同で開発した【グリーン紙管】。
 難溶性に製れ、立派な「資源」として回収・再利用することができます。
 もちろん、従来品のパフォーマンスもしっかり維持。
 廃棄時の処理費用が不要になるため、コスト削減にもつなげます。

廃棄物ゼロへ、日本初の難溶性紙管。

易難溶性

グリーン紙管。

新商品ご紹介

田中紙管株式会社

環境に配慮した
無可塑剤型 紙管用接着剤

ボンドCNシリーズ
 ボンドCN140
 ボンドCN150

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>
 大阪本社/大阪市中央区平野町 2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046
 TEL.06(6228)2951
 東京本社/東京都千代田区神田錦町 2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054
 TEL.03(5259)5734

昭和高分子の
 紙管用接着剤 **ポリゾール**

昭和 昭和高分子株式会社
 取締役社長 宮内正行

本社 〒105-0012
 東京都港区芝大門 1-13-9
 電話 03-5403-5500(代表)

支店 大阪・名古屋・福岡
 営業所 高松
 工場 伊勢崎・竜野・大分



Carbon Footprint of Products

製品のCO₂の「見える化」カーボンフットプリント

カーボンフットプリントとは、直訳すると<<炭素の足跡>>です。「どこ」で「どれだけ」CO₂が排出されたかを「見える化」したものです。

前号にて概要をお知らせしていましたが、その後の進展状況につきご報告いたします。

昨年7月より活動をしていました紙製容器包装のワーキンググループ(WG)は昨年十数回の会合を開き、この1月中旬にPCR(商品種別算定基準)原案の策定が完了し、PCR委員会に申請される運びとなりました。当組合では経産省よりの呼びかけに応じ、CFP制度試行事業のはじめとなる、紙製容器包装のPCR原案策定ワーキンググループに参加し、本制度の仕組みや、考え方について研究を進めてきましたが、紙製容器包装PCR原案が認証されて認定PCRとして公開されると、これによる紙管のCO₂排出量が計算できることとなります。今後具体的な問い合わせが各組合員のところに寄せられることも考えられますので、当組合としても、本制度に対する研究をするべく分科会を設け、要望に応えられるようにしていく予定です。今回は、CFP制度でよく使用される用語などを簡単に紹介させていただき、今後の参考にして頂きたいと存じます。

カーボンフットプリント制度： Carbon Footprint of Products(CFP)と言い、直訳で「炭素の足跡」の意味で、商品やサービスのライフサイクル(原料調達から始まり、消費され焼却またはリサイクルされるまでの全工程)全体で排出される温室効果ガスをCO₂に換算し、商品等にマークを表示する制度。本来の目的は消費者に商品・サービスのCO₂消費量を認知してもらい、より効果的なCO₂削減を図っていくことが目的とされています。CFP制度については3年間の試行事業として昨年初めよりスタートし、まず各商品・サービス毎の計算ルールを決めるためPCR原案策定ワーキンググループを業界ごと、分野ごと、商品ごとなどに自主的な活動として始まり、現在70以上のWGが立ち上がっています。

ライフサイクルアセスメント： Life Cycle Assessment(LCA)と言い、工業製品の製造・使用・廃棄に係わるすべての工程での資源の消費・排出物量を計量し、環境への影響を評価する手法を言う。先のCFP制度はまだ始まったばかりですが、このLCAは10年ほど前より始まっており、CFP制度における計算の方法や考え方はこのLCAがベースになっています。

GHG： Greenhouse Gasの略称で、CO₂をはじめとした温室効果ガスの総称

PCR： Products Category Ruleの略称で、「商品種別算定基準」を意味する。先に報告しましたWGでの活動はこのPCRの内容を検討・審議し、各種の用語定義・計算の範囲・方法などを決定した。このPCR原案はPCR委員会にて認定されると認定PCRとして、公開され、誰でもこの認定PCRを使用することが可能となる。

B-B製品： 企業から企業への取引を言う。紙製容器包装PCRにおいてもほとんどの対象はこの形態となり中間財と表現している。

B-C製品： 企業から消費者へわたる取引を言う。最終消費財を言うが、われわれ業界に関係する例で言えば、ラップ用紙管やトイレトーパーパ芯などは最終消費財に使用されるが、その製造メーカーへの納入となるので中間財となる。

(社)産業環境管理協会： CFP制度試行事業事務局やLCA関係など環境関連の事業を行っておりホームページ上にて多くの情報を得ることができますので、何か得たい情報がある場合には参考になると存じます。

東部地区部会研修会のご案内

ご承知の通り、製紙業界の環境は激変しており、製紙のみならずあらゆる業界で中国マーケットに注目が集まっております。製紙業界の現状を知る上にも貴重なお話を聞かせて頂きますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時：平成22年2月25日(木)

15:00～18:00 (17:00～懇親会)

場所：新横浜グレイスホテル

(横浜市港北区3-6-15) Tel 045-475-5111

内容：「南通事業を含めた、今後の中国における製紙事業に関して」

講師：王子製紙株式会社 山本信能前副社長

会費：1名 5,000円

申込：東部地区部会事務局 山崎 (武川産業)

(Fax. 03-3951-2791)

「容器包装におけるPCR解説セミナー」

開催のお知らせ

CO2排出量の「見える化」の一手段である「カーボンフットプリント制度」はますますその重要性が高まり、今後容器包装発注者から容器包装のカーボンフットプリント算定が要求されることも考えられます。そこで、「容器包装におけるPCR解説セミナー」を開催いたします。

【開催日時】平成22年2月22日(月)

午後2時～午後4時

【会場】日本印刷会館 2階大会議室

(有楽町線新富町駅、日比谷線八丁堀駅下車)

TEL 03-3553-6051

既にメールにてお知らせしておりますが、申込書等御入用の方は事務局までご連絡下さい。

紙管用接着剤

コニシ株式会社 代理店

株式会社 旭 栄

大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

特許出願中

新無可塑剤型 紙管用接着剤 A-560シリーズ



アイカ工業株式会社

東京本社 化成品カンパニー営業部

東京都練馬区豊玉北6-5-15 アイカ東京ビル
☎03-5912-2774

環境に配慮した

無可塑剤型

紙管用接着剤

ボンドCNシリーズ

ボンドCN140 ボンドCN150

コニシ株式会社 (ボンド事業本部)

本 部 / TEL.06-6228-2951
東京支店 / TEL.03-5259-5734

水性紙管用すべり剤 スライダーKS

接着剤 HMノール

接着剤・すべり剤製造販売

株式会社森川商店

【本社】

TEL 075-341-8121

FAX 075-341-8143

URL: <http://www.morikawashoten.co.jp>

E-Mail: techno@morikawashoten.co.jp

【テクノセンター】

TEL 077-516-2221

FAX 077-563-8894

事務局よりのお願いと編集後記

昨今の天候不順、皆様におかれましてはご健勝にお過ごしでしょうか。新型インフルエンザも下火となっておりますが、重々に御身ご自愛下さい。

さて、12月にお問い合わせ致しました「労働条件調査」をまだご提出頂いていない場合は至急事務局までご返送下さいますようお願い申し上げます。

全国紙管工業組合 事務局

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-16

TEL 06-6945-0459 fax 06-6946-6108

e-mail : alljappt@mta.biglobe.ne.jp

<http://www.zenkokushikan.jp>